甲州街道小原宿案内図

小原宿本陣
大名など貴人の宿泊に使用した施設。小原宿の名主、問屋を務めた清水家の建物。神奈川県下に唯一残る本陣建築であり神奈川県指定重要文化財。

清水屋
宿場時代の旅籠の一つ。本陣と同じ祖先を持つ旧家。かつては立派な長屋門があった。

饅頭屋
かつて饅頭屋を営んでいた。

立道
八幡神社の参道の入口にある。

伊勢屋
時代により脇本陣、問屋なども勤めたと伝わる。出桁造りには珍しく入母屋造、欄干などを備え、建物細部へのこだわりが伺える。

中宿
宿場時代の旅籠の一つ。近年まで母屋の裏には大きな紡績工場があった。

花屋
宿場時代の旅籠の一つ（現在は空き地）。

桝屋
屋号は年貢として納めていた漆を量る桝に由来。近年まで酒屋を営んでいた（現在は壽堂）。

永楽屋
宿場時代の旅籠の一つ。江戸時代から明治初期まで旅籠を営んでいたことが伝わる。紺屋の商号を持ち、織物なども扱っていた。

種屋
大正時代から「桂北館」という商号で上津久井全般に渡り蚕種の販売を行っていた。

甲州街道は、信州諸藩の参勤交代、甲府勤番の役人をはじめ、お茶壺道中、富士山や身延山への参詣者、行商人など様々な旅人が往来しました。

新撰組土方歳三の実家の取引先には伊勢屋と永楽屋の名前がある。

昔ながらの製法にこだわる大きな酒饅頭。

本陣としては珍しい江戸時代の茅葺農家様式

新撰組も修行した天然理心流の「目録」が伝わる。

本陣としては珍しく宿の入口にある。

本湊屋には甲陽鎮撫隊が通った時の話が伝わる。

地元で半世紀に渡り愛される豆腐店。

地元の特産品と食事。

撚屋
かつて撚糸業を営んでいた。

湊屋
宿場時代の旅籠の一つ。明治以降は製材所を営んでいた。

和泉屋
昭和時代に雑貨店を営んでいた。

菊屋
宿場時代の旅籠の一つ。

駕籠屋
江戸時代に駕籠屋を営んでいた。

藤屋
宿場時代の旅籠の一つ。建物は伊勢屋、小松屋、永楽屋などと同じ明治時代に建てられたもの。

小松屋
宿場時代の旅籠の一つ。富士講、身延講などの定宿として多くの旅人が利用した。力強い出桁が往時のまま残る。

機屋
かつて機織業を営んでいた。

榎屋
屋号は上方からの宿の入口に位置する榎の木に由来する。

小原宿は江戸から甲州街道の難所小仏峠を越えた先に位置する重要な宿場で、上り方面の旅人だけを泊める「片継ぎ」の宿場です。昔ながらの古民家や蔵が多く残り、多くの家には、宿場時代の旅籠や家業などに由来する屋号を持っています。

古民家
蔵

令和元年現在

100m